

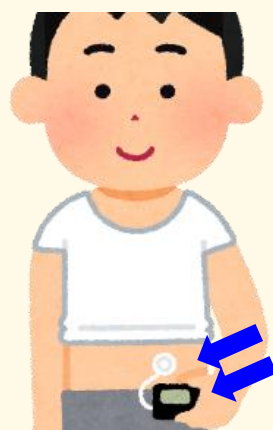
「インスリンポンプ療法外来」を開設しました！！

この外来（水曜日午後）では**よりきめ細やかな血糖管理**を目的に「インスリンポンプ療法の導入管理」と「持続グルコースモニターによる血糖（近似）値の測定」を行います。

<インスリンポンプ>



（インスリン自己注射）



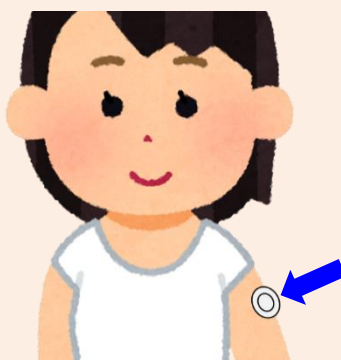
（自動的かつ持続的に投与）

インスリンを1日1～4回自己注射する代わりに、機器にインスリンを詰め、24時間を通してインスリンを皮下に持続的に投与します。**より細やかな血糖管理**が可能になります。

<持続グルコースモニター>



（1日1～4回測定）



（寝ている間も含めて測定可）

1日24時間を通して血糖値に極めて近い値（近似値）を手軽に測定出来るため、自身で気づけない低血糖や高血糖に気づくことが出来ます。インスリン治療を受けている方が保険診療の適応になります。

糖尿病治療の目的は、単に血糖値を下げるのではなく**適切に管理した結果の先にある「日々の健やかな暮らし」の維持と実践**にあります。適切な運動と食事を行い、それでも管理が不十分な場合には、飲み薬やインスリンを適切に併用することになりますが、血糖値の推移は健康な方とは異なります。自覚できない低血糖症はぜひ避けたいものです。インスリンポンプや持続グルコースモニターはきめ細やかな血糖管理を行うための手段の一つです。一方、全ての患者様が対象になるわけではありませので「インスリンポンプ療法外来」担当医までお問い合わせください。